

稲門やま

早稲田大学大和稲門会会報第50号

発行所	早稲田大学大和稲門会
発行人	会長 宮崎 顕
	事務局長 小澤 重晴
	〒242-0007 大和市中心林間 2-16-35
	TEL・FAX 046-276-8841
編集人	児浦義文、小澤重晴、村岡猛、加藤晴夫
URL	https://yamato-tomonkai.com



あけましておめでとうございます。

昨年は新年早々の元旦から能登半島地震が発生し、日本中に驚きとショックをもたらしました。早いもので、あれからもう1年が経ちました。時の速さを痛感すると共に、今年こそは被害者の皆様はじめ、会員の皆様にとっても平穏で喜びの多い、善き1年となることを願っています。

昨年は六大学野球では早稲田大学が春秋連覇し、今年の箱根駅伝で早稲田大学競走部は4位と健闘し、全国大学ラグビーも準優勝するなど最近の早稲田スポーツは目覚ましい活躍をして我々校友を元気付けてくれています。

そして、大和稲門会も「2024年神奈川県支部大会」を相模原稲門会と共同主管のもとに無事、そして盛大に開催することができました。240名近くもの方々に参加して頂きましたが、大和稲門会からも23名の会員が参加し、この参加者数は横浜、相模原に次いで3番目に多い数です。県支部大会に向け募った寄付金も、多くの会員の皆様から20万円を超える金額が集まりました。こうした事を通して大和稲門会のパワーを見た思いがします。

そして、今年からは事業年度が変わり、2025年1月は、大和稲門会にとりましても新しい年度のスタートであり、今年1年更なる発展の年にしたいと思っています。今年の我が大和稲門会の発展のため、今年も会員の皆様のご協力をお願いいたします。

大和稲門会 会長 宮崎 顕

2024年度(第31回)大和稲門会定時総会報告

— 事業年度が1月～12月に変わります —

開催日時 : 2024年11月23日(土) 16:00~17:30

会場 : 大和市生涯学習センター 603 中会議室

出席者 : 当会会員 20名

第31回定時総会は、11月2日に「2024年神奈川県支部大会」を相模原稲門会と共同主管した直後ということもあり、来賓を招いての懇親会は行わず、出席者を当会会員に限定した議案審議のみの総会として開催しました。

議事に先立ち宮崎会長より、大和稲門会は創立30年目の節目の年に、相模原稲門会と共同主管で県支部大会を開催でき、来賓や県下各稲門会の稲門会員など総数240名の方々に参加していただき、大盛会に終わることができたことの報告と会員への感謝のご挨拶がありました。

＜総会議案＞

- 第一号議案 2023年度事業報告
 - 第二号議案 2023年度決算報告
 - 第三号議案 2024年度事業計画（案）及び予算（案）の承認
 - 第四号議案 会則の変更（事業年度及び役員任期の変更）
- 上記全議案は賛成多数のもと全て承認されました。

総会終了後、児浦幹事長より新入会者（遠藤嵩哲氏）、総会初参加者（瀧本太郎氏）の紹介と本人の自己紹介が行われました。

＜事業年度の変更＞

第四号議案の可決により、従来10月～9月であった大和稲門会の事業年度が2025年1月より1月～12月に変更になります。

つまり今後大和稲門会の：

- 2024年度は、2024年10月～2024年12月の3か月
- 2025年度は、2025年01月～2025年12月の12か月となります。



懇親会での乾杯（芳香園）

＜懇親会＞

総会后、希望者による懇親会を中華レストラン（芳香園）にて行いました。16名の会員が参加し、渡辺副会長の司会進行の下で進められ、互いに親睦を深めることができました。（報告：児浦）

事務局 便り

事務局：小澤

◇会員数 60名（2025.1.15現在）

◇2024年4月～2024年12月に行われた行事・イベントは次の通りです。

- 2024.04.01 「稲門やまと第49号」の発行
- 2024.04.18 2024年春のハイキング（町田薬師池公園、ボタン園）
- 2024.05.10 「大和サロン」5月例会開催（講演：生成AIを学ぶ）
- 2024.06.25 「早慶懇親ゴルフコンペ」開催（小田急藤沢GC）
- 2024.07.20 夏季懇親会開催（北京飯店）
- 2024.08.20 大和サロン8月例会開催
- 2024.10.20 2024年稲門祭参加
- 2024.5～7月 2024年稲門祭記念品販売
- 2024.11.02 2024年神奈川県支部大会開催（レンブラントホテル東京町田）
- 2024.11.23 2024年度（第31回）大和稲門会定時総会（シリウス6F会議室）

◇2025年1月以降に予定の行事・イベントは次の通りです。

- 2025.01.15 「稲門やまと第50号」発行
- 2025.02.22 2025年（第32回）大和稲門会定時総会・懇親会（北京飯店）

2025年05月	早慶懇親コンペ開催予定（小田急藤沢GC）
2025年05月	春のハイキング開催予定
2025年5～7月	2025年稲門祭記念品販売
2025.07.01	「稲門やまと第51号」発行
2025年07月	夏季懇親会開催予定
2025年10月	2025年稲門祭参加
2025.11.01	2025年県支部大会参加（主管：鎌倉稲門会）

◇2025年度（第32回）大和稲門会総会・懇親会開催のお知らせ

開催日：2025年2月22日 13時～16時

会場：北京飯店（大和店）

会費：5千円

形式：総会・懇親会共に対面形式、懇親会は来賓をご招待

（会員には別途、“2025年（第32回）度大和稲門会定時総会のご案内”でお知らせします。）

◇お悔やみ

本会相談役の眞鍋藤正氏が2025年1月1日にお亡くなりになりました。故眞鍋相談役は本会の創立に尽力され、長年副会長職も歴任されました。ここに故人の安らかなお眠りをお祈りいたします。

「2024年夏季懇親会」開催報告

開催日時：2024年7月20日（土）13:00～15:30

会場：北京飯店（大和店）

2024年の夏季懇親会は、11月に行われる県支部大会に向けて、大和稲門会の団結を高めることを目的に開催しました。企画・準備は菟場副会長をリーダーとする実行委員会を組織し準備を進めました。

会員でもある古谷田大和市長、今年の県支部大会を共同主管する相模原稲門会の志茂会長、久保川事務局長を来賓としてお迎えし、大澤顧問も参加下さり、総勢24名の参加となりました。司会は加藤副事務局長が担当、宮崎会長の開会の挨拶でスタートしました。

<講話>

石川相談役より「健脳100歳マンガラートについて」の題目で講話をして頂きました。今年90歳を迎える石川相談役にとって、健脳100歳に向けた日頃の活動はいわば「ライフワーク」となっています。大谷翔平選手が活用したといわれるマンガラチャートの石川版を示され、ご自身の健脳活動の実践と熱弁に、参加者一同大いに刺激を受けました。

<懇親会>

古谷田大和市長の乾杯のご発声で会食を開始。続いて、児浦幹事長より、大和稲門会の活動状況や現在の課題についての状況報告がなされ、今年の最大のイベントである県支部大会の開催に向けて、会員一同に「参加と協力」の要請がありました。

来賓紹介では、司会者から相模原稲門会からお越しの志茂会長と久保川事務局長が紹介され、続いて志茂会長より「両稲門会がお互いに協力し合って、2024年県支部大会を成功させよう。」とのご挨拶を頂きました。



会員の近況紹介では、大澤孝征顧問（30年前当会立ち上げ時のメンバーの一人で、弁護士として活躍されている）や遠藤三紀夫幹事（元座間市長）から近況を語っていただきました。

アトラクションとして「ビンゴゲーム」行いました。恒例のゲームではありましたが会場は大いに盛り上がりました。

次の「応援歌を歌おうコーナ」では、紺碧の空、燃ゆる太陽、ひかる青雲等を全員起立して歌い、氣勢が上がりました。

最後に、参加者全員で輪を作り、校歌「都の西北」を斉唱し、菟場実行委員長の閉会の挨拶でお開きとなりました。

お帰りの際、今年90歳を迎えられました石川、眞鍋両相談役より卒寿記念品が参加者全員に配布されました。

ありがとうございました。これからもますますのご健勝を会員一同祈念いたします。（報告：加藤）



「2024年神奈川県支部大会」開催報告

<県支部大会主管>

神奈川県支部大会は、例年11月の第1土曜日に開催されます。主管稲門会は県下14稲門会が持ち回りで担当し、2024年は相模原稲門会及び大和稲門会の共同主管でした。相模原、大和双方から準備委員を選任し、1年半前から準備委員会を設置し、下記概要の下に準備を進め、無事開催することができました。

開催日：2024年11月2日（土）

会場：レンブラントホテル東京町田

予定参加者：240人

会費：1万円

基本テーマ：オールワセダ（早稲田大学の資源を活用）

<式典の部>

今回の大会は、大学からの来賓及び県下稲門会のご協力により、来賓5名を含め合計237人の方々に参加して頂き、久しぶりに200名を超える盛会となりました。当大和稲門会からも23名の会員が参加致しました。

式典は15時より開始、恒例の来賓・大会役員による入場式に続き、志茂大会実行委員長（相模原稲門会長）による歓迎の挨拶、東島大会会長（神奈川県支部長、横浜稲門会会長）の挨拶が続きました。

次に、来賓を代表して早稲田大学常任理事の本間敬之氏よりご挨拶と「早稲田大学の教育研究～今とこれから～」と題しての講演がありました。

講演は2032年に大学創立150年を迎えることから、これまで進めてきた早稲田ビジョン150をより進化させ、『世界に貢献する真のグローバルリーダーになるためには、2050年にはアジアで最も「学んでよかった」と思われる大学を目指す』という力強い内容でした。

相模原・大和両稲門会より早稲田大学への寄金贈呈式の後、松尾亜弓校友会常任幹事よりご挨拶をいただき、当会菟場副会長の閉会の挨拶で県支部大会は終了しました



寄付贈呈式の宮崎会長（左）

<懇親会の部>

懇親会の部は、当会の関根副幹事長及び小林女史の司会の下、先ず早稲田大学グリークラブの演奏で幕



歓迎演奏する早稲田大学グリークラブ

を開けました。

続いて当会の宮崎頭会長の懇親会開会の挨拶、大学関係者の挨拶と続き、皆さんお待ちかねの乾杯の音頭は古谷田力大和市長(大和稲門会会員)のご発声で開宴となりました。

料理はビュッフェ方式で、参加者は料理を取り、テーブルに運び、会場内のあちらこちらで談笑が広がります。アトラクションとして応援部のチアリーダーによる演技に会場は盛り上がりました。宴たけなわの頃、舞台では恒例の大会旗の継承式が行われ、相模原・大和稲門会から2025年主管を務められる鎌倉稲門会の兵藤会長に引き継がれ、兵藤会長からは来年開催に向けた抱負が述べられました。

最後に、参加者一同で校歌「都の西北」を歌い、相模原稲門会の天野名誉会長の閉会の挨拶で懇親会は終了致しました。



- *大和稲門会からの県支部大会準備委員：
宮崎会長，菟場、児浦、小澤、加藤、大竹
- *同 司会者：関根、小林
- *同 記録係：村岡
- *乾杯の発声：古谷田大和市長

- *大和稲門会からの参加者(上記役員を除く)：
石川、大澤、水野、渡辺、町田、田中、橘川、
宮島、佐々木、高橋、堀合、佐竹、上原
- *上記の方々はじめ大和稲門会の会員一同のご協力に心より感謝申し上げます。
(報告：児浦)

同好会活動報告

2024 春のハイキングの報告

開催日：2024年4月18日

行先：ボタン園、町田薬師池公園

<ボタン園>

小田急線町田駅に集合、「野津田車庫行き」バスで「薬師が丘」で下車。徒歩10分で第1目的地の「ぼたん園」に着く。ぼたん園は2024年4月12日より有料(520円)オープン、16,000㎡の敷地に330品種1700株のボタンの花がまさに百花繚乱でした。

「ぼたん」には、日本品種の他中国、アメリカ、フランス種、シャクヤク、ハイブリッド(ボタンとシャクヤクの交配種)など多くの品種があり、花の色も赤、桃、紋、紫、白、黄、黒と正に多彩で、それぞれ名前が付けられていました。



ボタン園の入口にて

ぼたん園をゆっくり観賞した後、園内にある「自由民権の碑」を見学する。ぼたん園一帯は、かつて自由民権活動家で大地主であった「石坂昌孝」の所有地であったことから「民権の森」と呼ばれていたそうです。そのため、園内には石坂昌孝の墓や、「自由民権の碑」が建てられています。



満開のボタンの花

<薬師池公園>

次に「薬師池公園」に向かう。ここは日本の歴史公園100選、また東京都指定名勝にも指定されていて、季節毎に桜、大賀ハス、花菖蒲、アジサイ、紅葉等が目を楽しませてくれるのですが、生憎訪問した当日は端境期で見頃の花は少なく、それでもタイコ橋で有名な薬師池周辺を散策しました。



町田薬師池にて（背後にタイコ橋）

その後2020年にオープンした「西園」に向う、ここでおしゃれなレストランを見つけ昼食をとる。美味しい料理にワインで疲れた足を癒すことができました。

食後は西園前のバス停から帰路に向かう。

今回は4名という少人数の参加者でしたが、満開のボタンを堪能でき、またおしゃべりしながらの楽しいハイキングでした。

（報告：児浦）

参加者：石川、小澤、加藤、児浦（4名）

「2024年早慶懇親ゴルフコンペ」報告

開催日：2024年6月25日（火）

会場：小田急藤沢GC

参加者：大和三田会（5名）、大和稲門会（7名）

幹事：大和三田会（片山氏）

6月の開催で、梅雨の天気心配されましたが、当日は朝から真夏のような晴天で、参加者は汗だくの中でのプレーとなりました。

プレー終了後は、クラブハウス2Fのレストランで成績発表が行われました。グロスでは、三田会の片山兄弟がそれぞれ79, 82という断トツのスコアでしたが、「新ペリ」での競技の結果、稲門会の斉藤忠彦さんが優勝となりました。



来年（2025年）は大和稲門会の幹事で開催します。（報告：小澤）

大和稲門会の参加者：関根、齋藤、小澤、南館、榊原、橘川、眞鍋

<上位成績と飛び賞者>

優勝：齋藤（W） 2位：菊池（K） 3位：片山（弟）（K）
5位：小澤（W） 7位：片山（兄）（K） BB賞：南館（W）

カラオケ同好会の活動報告

2024年4月以降のカラオケ同好会の活動は、8月のお盆休みを除き、毎月開催し常連を中心に8名前後の方が参加されています。長老の石川さんは、八代亜紀が亡くなって以降彼女を偲び、毎月シリーズで八代亜紀を歌われています。他の皆さんも持ち歌のほか新たな歌にもチャレンジされるなど思い思いに楽しんでいます。



アットホームな楽しい会ですので、初めての方、見学されたい方、しばらくお休みされていた方も気軽にご参加ください。

会場 ダイニングカフェ&バー「ペメル」

小田急線南林間駅西口 徒歩1分

ファミリーマート裏手マツキヨ筋

会費 2,300円 ママの手料理とワンドリンク

世話人 関根 090-8494-9598 児浦 090-9333-4479

「やまとサロン」の活動報告

やまとサロンは概ね隔月レベルで開催しています。最近の活動状況は下記の通りです。

●2024年5月例会（講演会） 演題：「生成AIについての勉強会」講師：大竹昌彦氏（当会幹事）
 私たちの生活に身近になったAI（人工知能）や、急速に普及するGhatGPTをはじめとする生成AIについて、基本知識や最新の話、活用例を資料や動画で紹介しました。また、参加者のスマホを使って生成AIを体験していただき、質問にAIが答える実力に驚きの声が上がりました。「面白いので日常生活に役立ててみたい」との感想や、石川相談役は毎日公表しているブログの中にそれにちなんだ一句を作成されていますが、生成AIで添削され、大変重宝しているそうです。このようにAIの可能性を理解いただいた勉強会でした。（報告：大竹）

●2024年8月例会 『日本外交・安全保障政策～リアリズム外交の現状 衆議院議員太栄志氏太（ふとり）代議士は、地元の代議士で、米国に留学経験もあり安全保障政策がご専門。当日は、下記の内容について講演して頂いた。

- ①日米地位協定と防衛、安全保障上の政治課題
- ②岸田政権の「新時代のリアリズム外交」について
- ③中国との向き合い方と台湾問題
- ④TPPを利用した日本の独自外交の提唱

新入会員紹介



新入会員：遠藤 嵩哲（54歳）氏 のプロフィール

入会日：2024年9月

出身学部：1993年（平成5年） 政治経済学部卒

現住所：神奈川県大和市渋谷

<自己紹介>

大和市立渋谷小学校、渋谷中学校卒業の大和生まれ・大和育ちです。大学卒業後、金融機関に就職。大阪市内の支店、次いで都内の支店に配属となり、その間大和を離れましたが、平成8年4月に大和市役所に奉職し、大和に戻ってまいりました。

高校時代は山岳部に所属し、大学でも登山を続けてきましたが、最近では身体と相談しながら、年に数回行く程度です。

校歌（都の西北）に「集まり散じて 人は変われど 仰ぐは同じき理想の光」とあります。学んだ時代は異なっても、同じ理想をもって、同じ景色を見ながら学生生活を送ってきた者の一人として、大先輩の皆さんを始め、様々な世代の会員の皆さんとご一緒できることを楽しみにしております。

会 計 便 り

会計 児浦

1. 2024年度定時総会において、会計年度が下記の通り変更になりました。
 2024年度 2024年10月～2024年12月（3か月間）
 2025年度 2025年 1月～2025年12月（1か年）
2. 年会費につきましては2024年度は3か月間のため、徴収は行わないこととし、2024年度分納入済みの方（下記記載）は2025年度会費に充当いたします。従いまして、2023年度分まで納入の方は2025年（今年度分）の納入をお願いいたします。

 2024年年度納入済み’（2025年度以降分も含む）の方は以下の通り
 遠藤三紀夫、大澤孝征、小島達之、佐藤逸郎、柴田哲也、清水美加子、関根実
 土橋仁志 橘川泰一 小澤重晴 田中政弘 田村幸雄 佐竹育子 古谷田力
 堀合研二郎 上原慶子 以上16名
3. 納入方法は郵便振込または銀行振り込みをご利用ください。
 郵便振込 同封の郵便振込票をご利用ください（振込料当会負担）
 銀行振込 横浜銀行中央林間支店 普通預金 口座番号 1155943
 口座名義 早稲田大学大和稲門会
4. 会費納入についての問い合わせは下記にご連絡ください
 加藤 晴夫 090-4669-9802 メールアドレス katou.hareo@gmail.com
 児浦 義文 090-9333-4479 koura0114@jcom.home.ne.jp

***** 「編集後記」 *****

新年の多忙な中での編集でしたが、「稲門やまと第50号」をお届け出来る運びとなりました。これまで、会誌「稲門やまと」は毎年4月と10月に発行していましたが、2024年度総会における「事業年度変更」決議に伴い、今年度から発行月が1月と7月に変更いたしました。

そんな関係で、今号は当会の昨年4月以降12月までの9か月間という、いつもより長期間で盛り沢山の記事を掲載したため、本誌恒例の「私のお勧めの店、場所、本の紹介コーナー」や会員からの投稿記事は割愛させて頂きました。

次号からは、いつも通り投稿記事も多く載せたいと考えていますので、会員の皆さんの積極的は投稿をお待ちしています。（編集委員一同）